

# 脱炭素社会の実現に向けて ～エネルギーの課題と今後の対応～

喫緊の課題である地球温暖化への対応として、日本は「2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）」を目指しています。パリ協定のもとでの温室効果ガス削減に向けた国際動向や、日本の具体的取組みの現状と課題、エネルギー政策への影響などについて、地球温暖化政策分析の専門家にお話を伺います。

■ 日時 **2021年2月5日(金) 15:00～16:30**

■ 受講料 **無 料**

■ 講師 **清水 透** 氏 (一般財団法人 日本エネルギー経済研究所  
環境ユニット 気候変動グループ 主任研究員)



〔略歴〕

2010年4月 日本エネルギー経済研究所 入所。専門は環境経済学。  
欧州の排出権取引制度、省エネ政策に関する調査・分析や、日本の自主行動計画・低炭素社会実行計画に関連する分析、フォローに従事。  
EUのカーボンプライシングやエネルギー気候変動政策を継続的に調査・分析、EU各国での現地調査の経験も有する。2016年以降に各国が国連に提出した2050年に向けた長期戦略を分析、日本の長期戦略の策定に向けて比較分析を実施した。

■ 応募 次のアドレスの申込画面からお申込みください。

<https://ssl.q-enecon.org/koen/form.php>

※スマートフォンの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



今回は新型コロナウイルスに対する参加者の安全を最優先に考え、**Webによるライブ中継にて開催**します。（「YouTube」で配信します）

参加お申込みいただいた方に後日受講URLをお送りいたしますので、当日はそちらからご視聴ください。

主催：(一社)九州経済連合会 後援：福岡商工会議所、福岡経済同友会